

クラス番号	645	担当教員名	永井 健
テーマ	児童福祉施設に措置入所している子どもの姿に触れ、家族支援の在り方を考える。 学童保育を通し、放課後の子どもたちの生活を考える。		
著書・論文	<ul style="list-style-type: none"> 『子どもの社会的養護内容』 編著 堀場純矢 共著 (福村出版) 『「三つの家」を活用した子ども虐待のアセスメントとプランニング』 ニキ・ウェルド、ソニア・パーカー 井上直美編著 共著 (明石書店) 		
研究課題等	<ul style="list-style-type: none"> 『放課後児童支援員のための認定資格研修テキスト』 非営利法人学童保育指導員協会編 共著 (かもがわ出版) 		

ゼミナール概要

キーワード：社会的養護の役割と労働、学童保育の情勢と資格制度、貧困問題、家族応援、安全パートナーリング

目的、内容、方法等：

前期は子どもを取り巻く社会情勢を学びつつ、各自またはグループの研究テーマを見つける。

後期は各自またはグループの研究テーマに沿って調査研究活動を行い、11月頃から研究成果の発表会をゼミ内で行う。

担当教員は児童養護施設での職歴があり、現在も情緒障害児短期治療施設で働いているという立場を生かした助言ができると思う。

学童保育に関しては指導員経験もあり、現在も連絡協議会役員として「制度化」の必要性を訴えている立場でもあり、学童保育の果たす役割や指導員として働くための基礎知識等の学びを進めていきたい。

また、施設入所となった子の家族が、少なからず貧困や孤立などの課題を抱えている現実があるが、どのような支援をしていくことで子どもが安心して暮らせる家族を再生し、維持していくことができるのかについても学生の皆さんと考え合えたらいいと思う。

授業計画：

- ・前期は新聞や専門誌から子どもを取り巻く情勢について学ぶ。
- ・全国児童養護問題研究会第45回全国大会（大阪大会）への参加、第51回全国学童保育研究集会（愛知大会）等に参加し、最前線の情勢と課題、支援について学ぶことを勧めたい。

後期は以下のような各論の学びを深めたい。

- ・施設養護の現状と課題～家庭的養護推進計画。
- ・学童保育の現状と課題。
- ・子どもと向き合う工夫について学ぶ（安全パートナーリング）
- ・家族応援の在り方について学ぶ。
- ・子どもの権利条約を学び、施設援助に生かす。

担当教員からのメッセージ



児童養護施設のような社会的養護を学びたい学生、学童保育を学びたい学生、家族支援の在り方を学びたい学生を歓迎します。

調査研究を通して、現場に触れた学習や事例検討を大切にしたいと思います。

